

## 米軍普天間飛行場の嘉手納基地への暫定移設に断固反対する決議

民主党の石井副代表並びに民主党沖縄総支部連合会の喜納代表代行らは、去る4月6日に、普天間飛行場の移設に関し、名護市辺野古への現行計画は実行不可能として、嘉手納基地や県外の基地に分散する新たな移設案の提言を発表した。

普天間飛行場の移設については、嘉手納基地への統合案が示されるたびに、本町議会を始め、嘉手納基地周辺自治体等の猛反発を招き、日米両政府は嘉手納基地への移設を断念した経緯がある。

沖縄県民は、戦後66年余りにわたり、米軍の事件や事故に悩まされ、特に嘉手納基地周辺住民は、基地から派生する激しい米軍機の爆音下で、肉体的、精神的な被害を受け、生活環境まで脅かされている。

近年の嘉手納基地の運用実態は、常駐機のF-15戦闘機等の他に、様々な外来機が幾度となく飛来し、米軍再編協議で合意された負担軽減どころか、異常な基地運用で基地機能強化と言わざるを得ない。再三にわたり、嘉手納基地の現状を踏まえず、嘉手納統合案が繰り返し提言される状況は、町民、県民の怒りを積み重ねるものであり、断じて容認できない。

よって、北谷町議会は、町民の生命、財産、安全を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

### 記

- 1 米軍普天間飛行場の嘉手納統合案については、いかなる理由、いかなる条件があろうとも撤回すること。
- 2 普天間飛行場を即時閉鎖し、無条件撤去を実現すること。
- 3 嘉手納基地の機能強化に断固反対し、騒音被害等の負担軽減を速やかに実施すること。

以上、決議する。

平成24年4月26日

沖縄県中頭郡北谷町議会